

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名：あゆみ学園

保護者等数（児童数） 37 回収数 32 割合 86.5%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	0	0	0		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	4	0	0	<p>・福岡市の基準だけで言うと、「親子通園は大人1人：子ども5人」は正直大変そうだと感じます。現状は大人2人：子ども5人程で対応していただけて助かっています。ありがとうございます。</p> <p>・3歳児くらいになると動きが活発になってきているのでたまに2人では目が行き届かないこともあると思う。</p>	<p>記載して頂いている通り、福岡市の配置基準は満たしており、行事や学習会など時間帯や必要に応じて追加の人員を配置しております。</p> <p>また、療育室は安全面に配慮した環境に整えており、なおかつ子どもたちの動きには細心の注意を払っていますが、お気づきのことがあればその都度お知らせください。</p>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	1	0	0	<p>子自身が身辺整理等行えるように、写真を活用する、空間を間仕切る等していただき、工夫していただくことでスムーズに行動できるようになっていると思います。</p>	<p>子どもが動作を行いやすい、集中できる環境を整えること有効な支援と考えています。今後も、子どもたちが理解しやすい、自分で行いやすい環境設定を行っていききたいと思います。</p>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	0	0	0		
⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	31	1	0	0			
⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	1	0	2			
⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	0			
⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	30	1	0	0			

適切な支援の提供	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	9	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと障がいのない子どもと交流する機会をふやして欲しい ・障がいのない子どもたちとの交流の機会があれば参加してみたい。 ・まだ機会がないです。 ・あゆみ学園がその活動を行っていて、子が参加する機会があれば「いいえ」です。 ・冬感染症があるので仕方ないです。慎重であるべきだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は幼稚園との交流のみでしたが、小学校の校庭利用の再開も検討していきます。 また、小学校からの見学・交流の申し入れが再開されれば検討したいと思います。 ・今年度3回の申し入れを行い2回を計画しましたが、感染症流行の為1回中止となり、結果1回の実施でした。次年度も引き続き、対象グループや日程について、保護者会との例会等で事前にお知らせ致します。 ・感染症流行期を避け、時期を設定します。子どもたちの体調が第一であるため、感染者がいずれかの園で増加した際は中止します。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	1	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	25	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明していただけるため、自宅等でも実践しやすいと思います。 	今後も日々の関りに活かせるよう、園にてペアレントトレーニングを行っていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	0	0	0		

保護者への説明等

15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	9	0	4	<p>・保護者会が必ずしも必要とは思わない。</p> <p>・保護者会へ参加できる人と、生活や仕事の都合によって参加できない人がいるため、参加できる人が参加できない人へ不満がたまるのは当然だし、プレゼントなど不要なのでやめて欲しい。私は参加できないので、参加できる人からのフラストレーションを感じるのは困ります。</p> <p>・保護者会に関しては、他学年の保護者とはあまり交流する機会がない為、なんだか分かり合えない？困ったなぁと思う事があったが、間に副園長や保護者会担当の先生が入って下さってトラブルなくすすめる事ができ助かりました。</p> <p>・「どちらともいえない」に〇をつけたのは、保護者会に全く来ない方がいてあまり会ったことない人もいる。でもそれは各家庭の事情もあるし、仕方ないと思う。</p>	<p>・保護者会につきましては、保護者同士の親睦や園児のためのものと考えておりますので、保護者の方の負担とならないよう、昨年度に引き続き役員の方と調整してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。</p> <p>・単独通園では保護者の来園が少なく、また設定時間も異なるため、例会への参加に限られる方もいらっしゃると思います。文書や担任からの報告など代替手段も活用しながら、交流の機会でもありますので、無理のない範囲で参加をお願いします。</p>
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	3	0	3	<p>何度か先生方や園との話し合いの場がありましたが、それらしい理由を伝えられただけで話し合いというか、説得するための一方的な場のように感じた事が何度かありました。</p>	<p>利用者からの意見や相談には、できる限り応じて行きたいと考えております。当園だけでは解決できない事柄もございますが、意見交換の場が一方的にならないように努めます。また、頂いたご意見は保護者ニーズとして、今後の方針検討に活かしてまいりますので、今後もさまざまなご意見を頂きたいと思えます。</p>
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	1	0	0		
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	0	4	<p>業務に関する自己評価の結果は発信されているとは思わない。</p>	<p>あゆみ学園のホームページに掲載されております。保護者会との例会にて報告していましたが、すべての利用者の方に周知できるよう、繰り返しお伝えしてまいります。</p>
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	1	1	0	<p>伝える必要のない情報を「確認」として、知られたくない人に伝えられたのは悪気がなく子の安全のためという施設側の配慮には感謝しているが、ものすごく嫌でした。</p>	<p>不快な思いをさせ申し訳ありません。ご意見を受け、以降は記録にて保護者と確認させていただいております。</p>
20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	1	1	2		

非常時の対応	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	1	0	2	・大規模災害時ほどのような動きになるのか、必要なものが揃っているのか、一度訓練してみたい。 ・定期的に実施していただき、心構えができます。	・今年度は大規模災害の学習会を実施しました。今後は、食事や移動など具体的な場面を想定する訓練も検討してまいります。 ・今後も、毎月計画し情報提供も併せて行います。	
	満足度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	はい	やや楽しみにしている	どちらともいえない	いいえ	わからない	子ども私も毎週通園が楽しみで、時間をしっかり子に向けられる機会になるため、心から感謝の気持ちでいっぱいです。
㉔		事業所の支援に満足しているか	はい	やや満足している	どちらともいえない	いいえ	わからない	・単独通園は、子どもだけで通い職員と様々な活動を楽しみ、自分で考えたり、伝えたりして力をつけていきます。お子さんが安心して力を発揮する為には、できるかぎり、同じ場所や職員の中で過ごすことが有効だと考えております。子どもの立場で療育の場を考えて現在のスタイルとなっているとご理解いただければと思います。よろしくお願いたします。 ・年長になったら保育園との並行通園不可というのが……。 ・年長になると保育園と並行して通園できないこと ・たったの1年間環境が変わり、小学校に進学する流れはせっかく本人も慣れ ・楽しく過ごしながら療育を受け入れているのに、親子で苦労している。改善できれば良いと思います。 ・リハビリの回数を増やすか、時間を少し長くして欲しい。 ・困りごとを一緒に解決しようと考えていただけて、とても心強く感じています。子ども、家族の気持ちに寄り添っていただけて感謝です。 ・総合的にとても満足しています。先生方はとても温かくよく目が行き届いているなあと思います。	・リハビリの回数は週1回、時間も40分としております。重点をおきたいプログラムを優先したり、日常の中で取り組めるような事をお伝えしております。時間配分を工夫したりして効果的に実施できるようにしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。 ・感謝の言葉をありがとうございます。今後も利用者の皆さまに満足していただけるよう努めて参ります。 ・ありがとうございます。引き続き、保護者の方が安心して療育を受けられるよう、職員の接遇や専門性の研鑽に努めてまいります。

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....